

特別企画展 没後100年

Tomiooka Tessai

101st Centennial Exhibition

101st Centennial Exhibition
四年四月十一日(金) — 五月十九日(日)



天福一百者言富三百年
三日道好息又日夫身命
右見尚書洪化
大正參季九月
四百七十二甲子
鏗燕外

富岡鉄斎

知の巨人

鉄斎の足跡

大和文華館 — 奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 電話 0742-45-0544
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

[休館日] 毎週月曜日
(ただし、4月29日(祝)・5月6日(振替休日)は開館し、4月30日(火)・5月7日(火)が休館)
[開館時間] 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
[入館料] 一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

寿老図 富岡鉄斎筆 大正3年(1914) 大和文華館蔵

特別企画展 没後100年

Tomiooka Tessai 富岡鉄斎

A Centennial Exhibition

— 知の巨人の足跡 —

2024年は、近代日本を代表する知の巨人にして文人画家である富岡鉄斎(1836~1924)の、没後100年にあたります。京都の法衣商の家に生まれた鉄斎は、学問を重んじる家風のもと、若い頃から和漢の古典や諸学に親しみ、その中で育まれた膨大な知識、文人としての素養を、生涯の書画制作の礎としました。

今日残る鉄斎作品の筆の躍動、画中に付される跋文、そして多彩なモチーフは、一側面からでは語れない様々な鉄斎の姿、その生きた軌跡を、私たちにありありと伝えてくれます。本展観では、当館所蔵品を中心に、豊かな学識と幅広い交友のもとで生み出された鉄斎の書画作品を一堂に展示し、鉄斎の生涯にわたる精力的かつ多彩な芸術活動をご覧いただけます。

2024 marks the 100th year since the death of Tomioka Tessai, a leading literati artist of modern Japan. This exhibition, centered around this museum's collection, displays Tessai's paintings and calligraphy works created amid his wealth of learning and wide acquaintances.



鮮魚図 富岡鉄斎筆
大正4年(1915)
大和文華館蔵

愛媛の知人が送ってくれた魚を、
軽妙な筆で描きます。



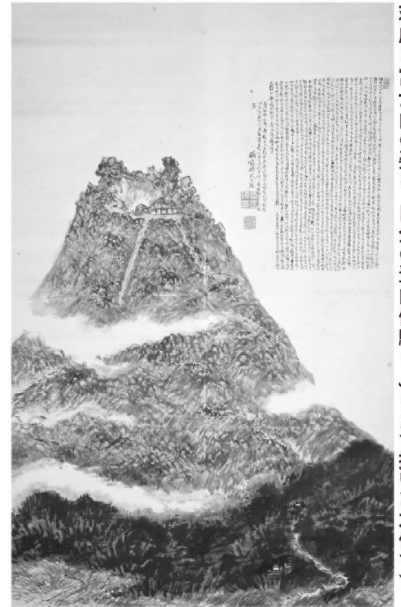
蘇子笠展図 富岡鉄斎筆
大正6年(1917)
清荒神清澄寺鉄斎美術館蔵

鉄斎がもつとも敬愛した中国の大文人・蘇軾(蘇東坡)の肖像です。



山莊風雨図 富岡鉄斎筆
大正9年(1920)
大和文華館蔵

暴風雨の中、二人読書にふける文人。ダイナミックな墨技が光ります。



攀嶽全景図 富岡鉄斎筆
明治22年(1889)
大和文華館蔵

荘厳な富士山の姿を、自分の登山体験もふまえて描いた大作です。



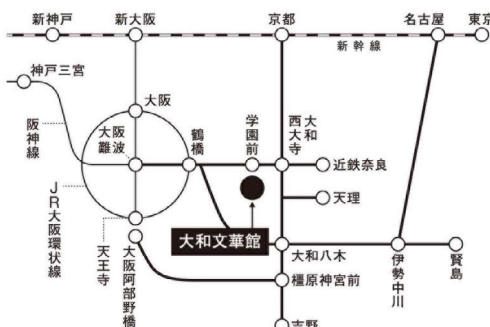
鉄斎の傘寿(80歳)祝いに制作された、清末民初の知識人・羅振玉との合作です。
挿花鼎圖・聯 富岡鉄斎・羅振玉合作 大正4年(1915) 清荒神清澄寺鉄斎美術館寄託

- 特別講演——5月12日(日)午後2時 講堂「鉄斎一粉本に見る学びの跡」
元清荒神清澄寺鉄斎美術館学芸員 奥田素子氏 [定員]当日先着100名(予約不要)
- 日曜美術講座——4月28日(日)午後2時 講堂「富岡鉄斎の中国憧憬」
当館学芸員 都甲さやか [定員]当日先着100名(予約不要)
- 列品解説——毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による

無料招待デー
5月8日(水)
財団法人設立記念日



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館
奈良・学園前
〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929
近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

@yamatobunkakan

